

エレベーター－階段リンクの仕掛け

1. 背景

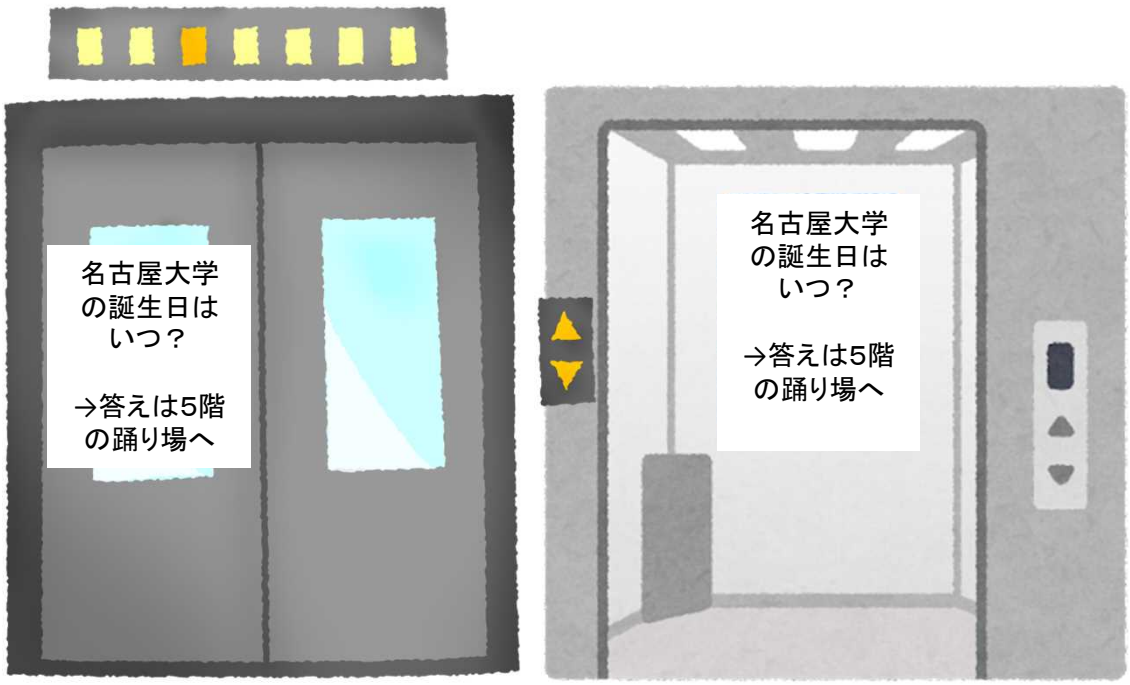
東海国立大学機構では、キャンパスのエネルギー消費削減を推進し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組み姿勢を地域社会へ積極的に示す責務がある。そのため、「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス」の指針が定められ、機構全体として構成員による省エネ行動を推進している。

2. 現状

本学のエネルギー消費量は、名古屋市の業務用事業者で突出して1位となっている。また、省エネ法により年間1%以上のエネルギー削減が求められているが、本学における2021年度のエネルギー消費量は前年度に比して1.3%増加している。こうした現状の理由としては、猛暑による空調機の使用増加や、コロナ禍からの回復に伴う学内活動の増加等、様々なことが考えられる。このような構造的なエネルギー消費量増加要因に対しては、継続性・実効性のある省エネ行動の誘導が必要である。名古屋大学の構成員は約1万9千人であり、ひとりひとりが省エネの行動を選択することが、非常に大きな影響力を持つと考えられる。

3. 解決策と課題

階段に促す仕掛け:



エレベーターの扉や内部に構成員が興味を引きそうな問題を掲示し、階段踊場に回答を設置することで、エレベーターから階段へ向かうよう行動を誘導する。

作成者：

4. 仕掛けの方法と効果測定

【仕掛けの作成方法】



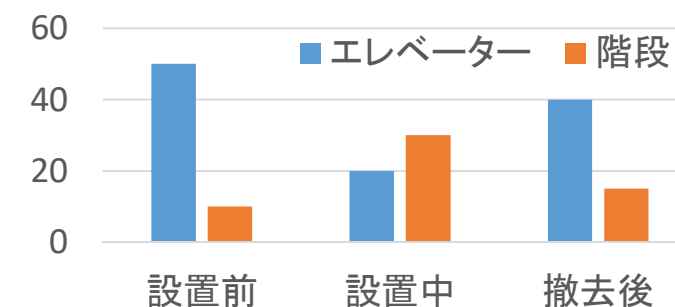
誘導問題は、本年発行された名古屋大学の歴史や、エレベーターのある建物に関する教員の研究内容等をから作成する。誘導問題は定期的に新しい話題を提供できるようにする。

【仕掛けの効果測定】

人数カウンターで各利用者数を計測する。



写真：赤外線カウンター



グラフ：効果測定データのイメージ

5. スケジュールと費用感

【スケジュール】

- 1月 問題作成、カウントシステム試行
- 2月 データ収集
- 3月 効果検証、本格的設置の検討

【費用感】

項目	個数	単位	単価	計
書籍購入	1	式	7,362	7,362
赤外線カウンター	2	セット	12,950	25,900
印刷物等	1	式	10,000	10,000
合計	—	—	—	43,262